

笠岡市の魅力ポイント

■面積 136.2km² ■人口 約4.4万人 ■指定地域 離島

<笠岡の地理的特徴といえば! ?>

- ・岡山県だけど、福山経済圏
- ・瀬戸内海と笠岡諸島

ここは岡山? 広島?



白石島 (鎧岩。白石踊は国重要無形民俗文化財)

北木島 (千鳥大悟の出身地 (家族は今も在住)。
国会議事堂の大理石、大阪城石垣などを産出))

- ・笠岡湾干拓地 (大規模農業、ひまわりやコスモス、
菜の花の花畑もきれい)



<笠岡の美味しいものといえば! ?>

- ・県内給食の4割をカバーする牛乳! 干拓に牛1万頭!
- ・最近人気の笠岡ラーメン (鶏チャーシュー乗せ鶏ガラ醤油ラーメン)
- ・岡山といえばやっぱり桃! 白桃の香りがハンパない!
- ・瀬戸内海で獲れたシャコ! (笠岡市の市魚!)
- ・地ビール (六島でクラフトビールを醸造)



<笠岡の特徴といえば! ?>

- ・カブトガニの生息地! カブトガニ博物館

※1928年 (昭和3年) 生江浜海岸が

「天然記念物カブトガニ繁殖地」として、国天然記念物指定。

- ・紅白でも放送されたよね! 藤井風の家がすぐそば



笠岡市の課題

■ 政策分野 漁業振興、離島振興

- 笠岡市は、瀬戸内海に面し、有人離島7島を抱える。離島部は人口減少、高齢化、経済活力の低下に悩まされる中、応援隊は主に下記2点の課題に取り組む。
 - ① 総合海洋教育の拠点をつくる事業である「渚の交番プロジェクト（渚の交番かさおかしまラボ（仮称））」を立ち上げ、収益事業として軌道に乗せる。
 - ② 飛島で行われている離島留学事業「フリースクール育海（はぐくみ）」が、（運営経費の裏付けのない）2025年以降も継続的安定的に運営できるための道筋を作る。

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和5年5月：オンライン打合せ（顔合せ。市より市の概況、有人離島の様々な課題の説明）
- 7月：オンライン打合せ（視察のスケジュール、内容についてのすり合わせ）
- 7月：現地視察（市長との意見交換、有人離島等の視察、現況把握）
- 8月：オンライン打合せ（応援隊の取り組む課題の設定、離島留学の解決策の提示）
- 10月：オンライン打合せ（渚の交番事業についての現況のヒアリング）
- 11月：オンライン打合せ（渚の交番事業の方針議論、【宿題】島のお土産品案）
- 11月：笠岡思民の会@東京新橋 出席
- 令和6年1月：オンライン打合せ（島のお土産品案調べの報告（宿題返し））

現在の進捗と今後の方針

- 「渚の交番プロジェクト」については、事業主体である「かさおか島ラボ」の構成が明らかになり、また、事業内容の方向性が見えてきた段階。今後は、かさおか島ラボを中心に、事業計画の細部を詰めていく。応援隊としては、現在、新事業の収益の目玉になるお土産品案について優良事例を調査し、報告した。
- 「育海」については、応援隊から、国の補助事業の活用可能性を中心に、財源案を提言。市では提言を踏まえて、方針を検討中。